

平成21年度科学交流フォーラム

第11回静岡ライフサイエンスシンポジウム

生物のパワーはどこまで利用できるか — 生物機能の活性化による有用物質生産 —

日時 2010年3月5日(金曜日)

場所 静岡大学 大学会館大ホール

(〒422-8529 静岡市駿河区大谷836)

- 9:30-10:00 受付
- 10:00-10:05 開会の辞 興 直孝(静岡大学長)
- 10:05-10:10 インタロダクション1 小谷 真也(静岡大学)
- 10:10-10:40 「潜在遺伝子活性化による有用放線菌の創出」
保坂 毅(信州大学)
- 10:40-11:10 「蛋白質間相互作用を標的とする阻害ペプチド・蛋白質ドメインの創出」
河原崎 泰昌(静岡県立大学)
- 11:10-12:10 ポスター発表1
- 12:10-12:40 昼食
- 12:40-13:40 ポスター発表2
- 13:40-14:10 「カンキツ果実における β -クリプトキサンチンの蓄積・調節メカニズム」
加藤 雅也(静岡大学)
- 14:10-14:15 インタロダクション2 栗井 光一郎(静岡大学)
- 14:15-15:05 「Intersection of the metabolic pathways for tocopherol and photosynthetic pigments at the plastoglobules of chloroplasts」
Dr. Peter Dörmann(ドイツ・ボン大学)
- 15:05-15:10 休憩
- 15:10-15:15 インタロダクション3 栗井 光一郎(静岡大学)
- 15:15-16:05 「Plant biomass and the role of plant lipid biotechnology for fuels and materials」
Dr. Sten Stymne(スウェーデン農業大学)
- 16:05-17:05 ポスター賞受賞者発表および受賞者講演
- 17:05-17:10 閉会の辞 山本 歩(静岡大学/静岡生命科学若手フォーラム代表)
- 17:30-19:00 交流会

主催: 静岡生命科学若手フォーラム / 大学ネットワーク静岡 / 静岡県

- ・シンポジウム参加費は無料です。教員、研究者、学生を問わず、多くの方の参加をお待ちしています。
 - ・シンポジウム終了後、同会場にて交流会が開催されます(参加費:500円)。
 - ・生命科学分野のポスター発表を募集いたします。(締め切り:平成22年1月31日)
- 申し込みの詳細は、若手フォーラムホームページ(<http://www.jpcc.shizuoka.ac.jp/gsbyf/>)をご覧ください。

☆問い合わせ先 田上 陽介(TEL:054-238-4825, E-mail: tagamiy@agr.shizuoka.ac.jp)